

原田

權右衛門平種次なつ木村久きむらを流某の子

母原田藤左衛門種右むね女めをりより

母の氏を冒して家稱をあらわす

右徳院殿に在り寛永西城さいじょう小性組

此番このばんを初め家後藩後

大猷院殿に在りはつりま川がわる其子百助

種氏なつハ氏統うりに生なま

大猷院殿に法久のありま川生

寛永
藩

大番を初む

家藩の子孫原田藤十郎其
享保十年罪のやて家絶ぬ

原田

四郎左衛門平種直按もろの家傳
ハハハ植平と作る甚花種重

り子わり種重ハ内藤甚花正直長男

りして寛永三河國足助に任じ家初ま

時又母よりこれ外祖父原田藤左衛門

養ひまて人とありこの家跡をも

改めて原田を称し常より病腦のり

ルもハ初仕じりてこの初を寛永十